

●if でよく出てくる比較演算子

python		DNCL
==	等しい	==
!=	等しくない	!=
>	大なり	>
>=	以上	>=
<	小なり	<
<=	以下	<=

練習 1 今のままだでも表示されますが、a に入った数字がコンピューターは文字か数字か判断できません。そこで a に入ったものが数字だと判断させるようにします。int を使います

```
a=input("あなたの年齢は？")
age=int(a)
print(age)
```

変数「age」の中に
int(a)を入れます
☆int は中のものを数値型
に変換してくれます

練習 2 条件によって表示が変わるようにしよう。
今回は年齢が 20 歳以上なら「大人だね」、そうでなければ「まだ未成年だね」というプログラムを作ります。

```
a=input("あなたの年齢は？")
age=int(a)
print(age)

if age>=20:
    print("大人だね")

else:
    print("まだ未成年だね")
```

条件で分けるときは if~else 文
使います。

if(条件式)

else:
処理 B

☆if、else の後に print 文を入れる場合は字下げ(tab キー)が必要です。
字下げで if 文の中にあるという意味になります。

字下げなし

```
if age>20
print("大人だね")
```

字下げあり

```
if age>=20
    print("大人だね")
```

練習 3 年齢によって処理を3つに分けてみよう。

20歳以上は「大人だね」15歳以上は「もうすぐ大人だね」、それ以外は「まだまだ未成年だね」というプログラムを作ります。

```
a=input("あなたの年齢は？")
age=int(a)
print(age)
```

```
if age>=20:
    print("大人だね")

elif age >=15:
    print("もう大人だね")

else:
    print("まだ未成年だね")
```

複数の条件に分けるときは
elif を使います

```
if(条件式)
    処理 A

elif
    処理 B

else
    処理 C
```

基礎課題 1 点数が70点以上かどうか確認するプログラムを作ろう。
70点以上なら「合格」、60点以上なら「ぎりぎり合格」、
それ以外なら「不合格」となるようにしてください。

ヒント①inputの文字を変えてみよう
ヒント②age>=20の数値を変えてみよう
ヒント③printの中身を変えてみよう。

重要 PythonとDNCLの比較

Python

```
a=input("数字は？")
age=int(a)
if age%12==0 and a/12==3
    print("T")

else:
    print("F")
```

DNCL

- (1) a = 【外部からの入力】
- (2) もし a % 12 == 0 and a ÷ 12 == 3 ならば：
- (3) | 表示する ("T")
- (4) そうでなければ：
- (5) | 表示する ("F")